

会 議 の 名 称	令和８年度 第１回鴻巣市スポーツ推進審議会
開 催 日	令和８年６月２３日（火）
開 催 時 間	午前１０時００分 開会 ・ 午前１１時３２分 閉会
開 催 場 所	鴻巣市役所本庁舎 ３階 ３０３会議室
議長(委員長・会長)氏 名	会長 清水昭典
出席者(委員)氏名 (出席者数)	清水昭典 穂山孝幸 波田野富信 海老名寛 森田博子 直井利充 清水将之 知野龍三 高橋洋明 涌井敏史 宮澤芳之（１１名）
欠席者(委員)氏名 (欠席者数)	古澤近（１名）
事務局職員職氏名	スポーツ課長 竹井豊 スポーツ課副課長 坂野上宝 スポーツ課主査 加藤千明 スポーツ課主事補 千葉優貴
傍聴の可否 (傍聴者数)	可（０人）
会 議 の 内 容	１ 開会 ２ 委嘱状交付 ３ 教育長挨拶 ４ 委員の紹介 ５ 事務局職員の紹介 ６ 会長及び副会長の選出 ７ 会長挨拶 ８ 議事 （１）令和７年度事業報告について （２）令和８年度事業計画について ９ その他 （１）ねりんピック彩の国さいたま２０２６（第３８回全国健康福祉祭埼玉大会）について （２）令和８年度の部活動の地域展開について （３）ネーミングライツ（施設命名権）の導入について １０ 閉会
	（決定事項など） 委員改選後初めての審議会のため、議題に入る前に正副会長の選出を行い、会長に清水昭典委員、副会長に古澤近委員を選出。 議事録署名人に波田野富信委員、森田博子委員を指名。 ８ 議事 （１）令和７年度事業報告について（資料１参照） 令和８年度鴻巣市生涯スポーツ要覧Ｐ５に基づき、令和７年度に実施した４事業を報告。 資料１に基づき、吹上富士見ゲートボール場設備の撤去工事が３月２５日に完了したと報告。 （いただいた質問・意見） 令和７年度事業報告にあった、初級ゴルフ教室と子どもラグビー体験教室には、どのような方が参加されたのか。 →初級ゴルフ教室においては、ゴルフを始めたことがない人や少しゴルフに触れたことがある人などが参加されている。

子どもラグビー体験教室では、基本的にはラグビー初心者が対象であるが、各小学校でタグラグビーを体育の授業で採用している学校もあるため、ラグビーボールを初めて触ったという子は少なかった。

(2) 令和8年度事業計画について(資料2参照)

令和7年度鴻巣市生涯スポーツ要覧P6に基づき、令和8年度に計画している8事業、2イベントを説明。スポーツフェスティバルにおいては、新たな種目としてバレーボールのエリアを追加する予定と説明。

資料2に基づき、高圧コンデンサに係るPCB調査及び交換、廃棄処分の実施を予定と説明。

資料2に基づき、コスモスアリーナふきあげにおける消防設備の修繕を予定と説明。

資料2に基づき、総合体育館及びコスモスアリーナふきあげにおいて、非常用自家発電機の負荷試験の実施を予定と説明。

資料2に基づき、吹上総合運動場グラウンドの整備を予定と説明。

(いただいた質問・意見)

- ・スポフェスでお昼を過ぎると、一度やった競技を二度、三度やる方がいる。たくさんのボランティアで成り立っている行事でもあるので、時間の効率性とフェスティバルの効果を考えると、時間を14時までではなく、13時くらいまでにし、同じ競技を二度、三度やる必要はないのではないか。

また、景品に関しても、配るために子どもたちを集めている感じがあり、景品にも予算がかかっていると思うので数の調整をしてほしい。

- ・子どもラグビー体験教室は、継続してやりたい子に関してはどのように続けていくシステムなのか。

→体験教室等でチラシを渡すなどはやめてくださいと言われているので、電話や自分の名刺を渡したりしている。去年は体験に参加したのは26名であり、再度体験に来てもらうフォローが難しい。

- ・市の方向として、部活動を地域展開することで、今までできなかった種目や専門家の方に教えてもらうのを子どもたちはとても楽しみにしている。ラグビーやゴルフにおいても興味を持っている子たちはいるが、部活という形にはなっていない。地域展開することによって、受益者負担が増える要素もあるが、今までできなかったことが鴻巣市はできるという方向にしていってほしい。鴻巣市は、色々な団体があって、色々な種目をやっている。そこをうまく連携さえすれば、子どもたちにとっていい状況になっていくと思う。これを教育委員会が先導をきるのか市長なのかかわからないが、一つの意見として置いてもらいたい。

- ・出前講座の件数が去年より多くなることが見込まれているが予算関係で回数の制限はあるのか。

→スポーツ推進委員に協力していただく部分が大きいのである程度の上限はでてきてしまうが20件前後であれば予算的には可能。

- ・鴻巣市が管理する施設において自主点検や保守点検などは常時行われているのか。

→機器点検を半年に1回、と総合点検という消防の点検を年に1回行っている。その他、指定管理者が施設を含め定期的に消防のことも含めて見回りをしている。さらに、指定管理者がどのように施設管理をしているか、市民にどのような対応をしているかなどの報告を年に2回設けている。

9 その他

(1) ねんりんピック彩の国さいたま 2026 (第38回全国健康福祉祭埼玉大会) について(追加資料参照)

追加資料に基づき、ねんりんピック彩の国さいたま 2026 について説明。

	(いただいた質問・意見) ・ボランティアは高校生でもできるのか。 →一般ボランティアの募集は18歳以上が対象 ・ボランティアは具体的何をするのか。 →お弁当の配布や休憩所の整理、ごみの分別などを手伝ってもらっている。 <u>(2) 令和8年度の部活動の地域展開について(資料3参照)</u> 令和11年度に部活動を終了することを見据えて部活動の地域展開を進めていくことを報告。 鴻巣ブレス総合型スポーツクラブを鴻巣市の先行モデルとして令和9年度から地域展開を進めていくことを報告。 (いただいた質問・意見) ・認定された場合、8月1日に新1年生などを対象に地域展開クラブの体験会を行う。それを踏まえ、地域展開クラブに参加するか意思表示と連絡網を変更し、9月中にどれだけの子どもたちが参加するのかを決め、10月から活動していく予定。問題点としては、保護者や子どもたちからすると、自分の中学校で練習や試合をできるほうが慣れているのでいい。また、学校による部員数のばらつきや、先生によって認識の違いがある。 ・市内小・中学校の統廃合の話の中で、地域展開についての議論はまだ深まっていない。地域展開により、生徒側の選べる選択肢が増えるのは良いこと。ただ、日本版DBSの関係で指導者側の確認作業など間に合うのか、法整備についての課題もあるが市では話し合いが行われているか。 →指導者の登録について、研修等を実施し受けた者のみが登録できるようにしていきたい。 ・地域クラブに移行すると学校の先生は地域クラブの活動に一切関与しないのか。 →兼職兼業という形で希望する場合は学校の先生も関与してもらっている。 ・活動場所への移動手段はどうなっているのか。 →自転車で行ける範囲でやっているつもりだが、各家庭によって基準が違うので難しいところではある。 <u>(3) ネーミングライツ(施設命名権)の導入について(資料2参照)</u> 24施設のネーミングライツに関する提案の募集を、令和7年11月28日(金)から令和8年1月23日(金)の期間で実施。 2施設に提案があり、(株)ラクロ、(株)KONOSU CITY FOOTBALL CLUBと令和8年3月24日に契約を締結。 愛称は、鴻巣市のHPで追記された他、今後のイベント等のポスターやチラシ等に追記される予定。(株)ラクロ、(株)KONOSU CITY FOOTBALL CLUBは、体育施設の看板等を愛称及びロゴマークの表示に変更することができる。
配布資料	資料1 令和7年度事業報告について 資料2 令和8年度事業計画について・その他 別冊 令和8年度鴻巣市生涯スポーツ要覧 追加資料 ねりんピック彩の国さいたま2026(第38回全国健康福祉祭大会)について